

青森県立保健大学附属図書館だより

# ラポール

## Rapport

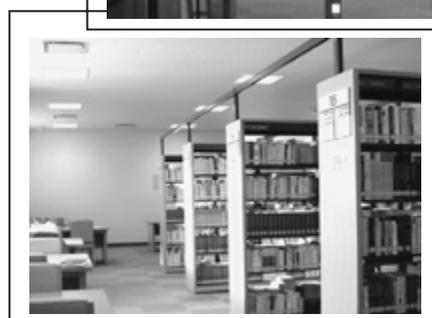
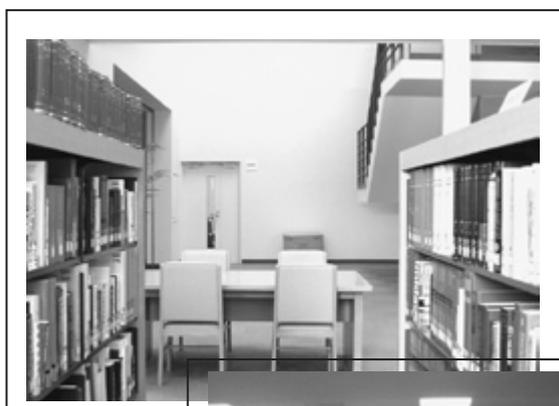
第2号 2004.3

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

**Rapport** : フランス語で、関係・関連・類似点

### 目 次

図書館の思い出	看護学科助教授 城島 哲子	.....	2
私の図書館生活	看護学科 4年 成沢 香織	.....	3
図書館と4年間	理学療法学科 4年 朝田 伸治	.....	4
最も身近な、学びを得られる場所	社会福祉学科 4年 高橋 千春	.....	5
施設紹介「グループ学習室」		.....	5
医中誌 Web 版の検索方法 (シリーズ図書館を使いこなそう第2回)		.....	6
新入生対象図書館ガイダンスのご案内・開館時間のお知らせ		.....	8



## 図書館の思い出

看護学科助教授 城島 哲子



1年間、図書館運営委員を務めました。自分では図書館に親しんでいない（利用回数が少ない）部類に属すると自覚しているので、委員としては適任ではなかったのではと自省しています。私が図書館に通わなくても仕事ができているのは、研究室からパソコンを使って文献検索ができる便利さに頼っているからです。

私が図書館に親しんだ最初の機会は、学部時代に卒業研究に取り組んだ時だと思います。卒論テーマは「計画無痛分娩を選択する意思決定要因」に関することでした。当時（学生の皆さんがまだ生まれていない頃）の文献検索は、医学中央雑誌のバックナンバーを1冊、1冊、手にとってページをめくって探す遣り方でした。主に産婦人科領域の文献を探したのですが、卒論に無関係だが興味を惹くものを見つけるのです。例えば『膀胱炎は膀胱内細菌の増加によって起こるが、それは機械的刺激によっても起こる。性行為の前、後で比較すると性行為後に尿中の細菌量が増加する』という報告を見つけました。（へえ〜！）これを見つけたときには、結果よりもその研究方法に驚いたものです。この研究の被験者は「米国の医学部に在籍する女子学生」ということでした。「…日本ではこんな協力者は得られないだろうな…」と考えたものです。

初めての研究の過程で体験した様々な驚きと発見は、大学図書館という良き学習環境があったから得られたものでした。当時と比べると、図書館の環境は格段に進歩しています。本学は新設校なので雑誌のバックナンバーが不足していますが、それを補うデータベースが充実しています。大学間の文献複写・現物貸借サービスを利用して文献

を取り寄せることができるので、不自由は感じません。学生の皆さんには早い時期からこれらのシステムを利用して、卒業研究に取り組む4年生になる頃には図書館利用のエキスパートになってもらいたいものです。

さて、私はこの3月で退職することになりました。4年間暮らした青森の思い出と言えばこんなエピソードがあります。赴任して最初の冬を越した、4月か5月頃のことです。大学の駐車場から正面玄関に向かって歩きつつ、ふと振り返ると、雪を頂いた八甲田山がいつもと変わらずに在りました。その瞬間、「この大学が、歴史を刻み、多くの専門職を輩出していく。それは全て、圧倒的な、人間が太刀打ちできない、自然の力によって成されるものだ。」という強い思いに捕らわれました。日常生活の中で“自然に対する畏敬の念”が沸き起こる感覚を持ったのは、生まれて初めてのことでした。

本学の卒業生は大学時代を回顧するとき、この青森の力強く美しい自然を、苦々しく、そして懐かしく思い出すことでしょう。私自身も4月からは、そのような一人になるのだと感じています。最後に、膀胱炎の予防は積極的な水分摂取と排尿を我慢しないことです。特に“事後”には心がけましょう。医学系図書館には役に立つ情報がいっぱいです！

## 私の図書館生活

看護学科 4年 成沢 香織



4年前、この保健大学に入学し、それからの日々は全てが新しいこととの出会いだったと思っています。講義や実習で、看護の奥の深さと魅力を知り、またそれゆえの難しさから考えさせられたことも大変多く、私自身にとって実りある4年間でした。その中で、図書館の本は無くてはならない存在であり、こんなにたくさんの本を借りたことは今まで無かったのではないかと思います。しかし、借りる本は看護に関するものや専門書が大半を占めていたので、ベストセラーの小説などもゆっくり読んでおけば良かったと、新刊が紹介されている棚を見て思っています。

私は図書館を利用して、すべての本を自分で自由に見ることができるという環境に使いやすさを感じています。一般に、書庫にある本などは司書の方に頼まないと手にとることができないと思いますが、この図書館では過去の新聞や雑誌を自分で探すことができるので、時間をかけてじっくり見ることができます。文献検索は、検索の段階では必要と思える文献でも、実際に内容を見てみると探していたものではないこともあり、私にとっては時間のかかる作業です。自分で自由に使えるという図書館の環境は、誰にも気兼ねすることなく、たくさんの文献を調べることができるので、本当に使いやすいと思いました。また文献検索の方法について、司書の方に資料を用いて分かりやすく説明していただいたので、図書館の利用方法の幅が広がったと感じています。

看護師国家試験が間近になってからは、多くの時間を図書館で過ごしてきました。図書館には、国家試験の勉強に役立つ参考書や問題集も充実し

ているので、自分の持っていない参考書や問題集にも取り組むことができ、実際に問題集を購入する際の参考にすることもできました。また、分からないことを本で調べて解決していくうちに、新しい知識や情報を知ることの大切さに気づかされました。医療や看護では、次々と新しいことが生まれ、それが正しい知識となっています。4年前、3年前に大学の講義の中で学んだことも、法律が変更されたり、また追加になった事項があったり、新しい概念や用語が生まれていたりすることがあります。そのため、講義の中で学んだことを基礎として、新しい情報に常に敏感でいることが大切であると考えました。自分から情報を得ようとする姿勢でいることと、本や雑誌の情報を見極める力を身につけていくことが必要であると思います。図書館には、新しい情報を得ることができる新刊の図書や雑誌が豊富にそろっているので、既存の図書とあわせて利用していくと学習に役立つのではないかと考えます。

最後になりましたが、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。少しでも早く大学の環境に慣れ、楽しい学生生活を送ってください。また、図書館には本に限らず、設備や司書の方々といったすばらしい資源が充実していますので、日々の学びに是非役立たせてほしいと思います。



## 図書館と4年間

理学療法学科 4年 朝田 伸治



私と図書館はとても身近な存在です。実は、まだこの大学に入る前、いや、まだ理学療法士などという職業がこの世に存在することさえ知らず、大阪の画廊で店員をしていたそのまはるか昔、読書にふけていた当時の私は本屋で欲しい本を買うのが勿体無く、休日には近所の図書館に通い、さらには半年間専門学校に通って図書館司書補資格を取得したほど図書館とは縁が深いのです。たぶん、全国の理学療法学科の学生で司書資格を持っているのは私ぐらいでしょうか。ですからこの大学での4年間、授業の合間や何もなく暇なときなどは、まず図書館に足を運び、新聞を読み、パソコンをいじり、もちろん専攻分野の資料や文献をもとに勉強もして有意義に過ごしていました。

同じ図書館でも、市立や県立の図書館と、大学・高校などの学校図書館ではその役割や書籍の内容は違うものとなります。例えば、県立・市立の図書館では地域住民の知恵袋としてあらゆる項目を全般的に取り扱うのでしょうか、学校図書館ではその主旨として教育性を前面に出さなくてはならないので、より専門性が強い書籍を扱うこととなります。とくに青森県立保健大学は理学・看護・社会福祉と他大学で設置している分野に比べてさらに各学科とも専門性が強い大学ですから、それだけ書架の充実への要求度は高いのではないかと思います。さらに現代は、理学療法を含む医学の進歩も速く、インターネットの普及で瞬く間に新しい知識が全世界へ発信される時代ですから、この速度に追いつかなくてはならない図書館と館員の皆さんのお仕事は大変ではなかったかと想像します。

その慌しさを横目に、学生の私は新聞を読み、パソコンをいじり、時には昼寝をしてと、あまりまじめな利用者ではなかったとこの原稿の依頼を受けてから反省する毎日です……。

ただ、ひとつ言い訳をさせていただければ、のんびりできるだけ落ち着いたこの図書館にはあるからだと思うのです。

図書館に必要なものといえば、もちろん利用者の要求に応えられる充実した書架ですが、同様にちょっと一息できるような、落ち着いた不可欠ではと。これではあたかも喫茶店や教会みたいですが、図書館で望むべき知識を書籍や資料から検索して、確認し、自己の中で消化して熟成させる過程というのは、仕事帰りに喫茶店でお茶を嗜みながら1日を振り返ったり、教会で神の前に立ち自己を問いただす作業と近いのではないのでしょうか。その点、この大学の図書館は落ち着きといい、開館時間も朝から晩まで余裕を持って資料を検索して確認できるし、もちろんインターネットからも最新の情報を検索できるのですから良い図書館としての条件は充分備えていると思います。あとは、書籍・資料量をもう少し増やしていただければいいかなと思うのですが。

あと、この4年間で気付いたことですが、実はその大学の顔というのは校門でも、校舎の外見でもなく図書館だと言うことです。

特に青森市内近郊で医療・福祉系で働いていらっしゃる方々は、現場でなにか疑問を感じた際、調べ物をしにこの大学図書館をたずねて来られています。もちろん市立・県立図書館よりも医療・福祉分野の書籍が大学図書館には揃っているということもあるでしょうが、青森県立保健大学が保有する施設の中で、学外の方々が頻りに利用できる施設と言うのはこの図書館ぐらいではないでしょうか。

大学図書館はその大学の“智”を司る貴重な財産です。お金はどんなに働いて貯めても使えば減っていきますが、知識は一度貯めればどんなに使っても減ことはありません。もしかしたら、この図書館で触れた書籍が、皆さんの人生を良い方向へ導いてくれるかもしれません。ですからどんな理由でも構わないので、どんどん図書館へ行って、学生の中に、卒業後新しい世界へ飛び出す準備をしておきましょう。きっと、これからの人生で何かにつまずいた時、真っ先にその知識があなたを助けてくれるはずですから。

## 最も身近な、学びを得られる場所

社会福祉学科 4年 高橋 千春



大学生活もあっという間に4年が過ぎ、あとは卒業を待つだけとなりました。振り返ってみても本当に短かったと感じます。

大学では、興味をもった課題を選ぶことのできる機会が多い分、自分でそれについての資料や文献から情報を集めて学び、そこから自分の考えを生み出していく力が求められます。初めから自分の考えをきちんともつこともとても素晴らしいことですが、数多くの文献を読むことでよりその考えを深め、新たな視点を学ぶこともできます。例えば、研究したいテーマについての歴史を記した文献を読むことで、それが抱える問題点を知り、それをどのように克服して発展してきたのかを把握することができます。これから向かうべき方向や新たな発想を生み出すためには、それがこれまで歩んできた道のりを知る必要があるとアドバイスを受けたことがあります。文献は、まさにその手助けをしてくれる貴重なものだと思います。

青森県立保健大学の図書館には非常に多くの文献が置かれており、雑誌や新聞なども充実しています。読みたい論文などを取り寄せることもできます。パソコンの蔵書検索は非常に分かりやすく、図書館職員の方々も的確なアドバイスと快い対応をしてくださいます。自分に必要な文献を利用するための設備が充実しているので、安心して利用できると思います。

私は小学生時代から図書館をよく利用していました。本が好きだという理由もありましたが、図書館という空間がとても好きでした。しかし、大学では今までで一番読書から遠ざかっていたような気がします。読んだ本は多くあったとは思いますが、必要に駆られて図書館を利用することが多かったような気がして、少し後悔しています。4年間でもっと十二分に利用できたらよかったと思います。ですから、これから大学生活を始められる新入生の皆さんには、課題があるときにはもちろんですが、その必要がないときにも図書館に足を運んで本や雑誌を手にとってみて欲しいと思います。きっと自分にとってプラスになることだと思います。

また、人がいると集中して勉強がはかどらない方なのですが、図書館3階にある個室や2階、3階にある一人用の机はよく利用させてもらいました。私にとって、卒業論文や国家試験など、特に4年生になってからの思い出が詰まった場所です。

卒業してからも、機会があれば自分の学びのために保健大学の図書館を利用できたらと思います。

新入生の皆さん、4年間という貴重な時間を有意義なものにするため、その一つの方法として、ぜひ図書館を有効に使ってみてください。

### —施設紹介—

#### 【グループ学習室】

グループ学習室は、図書館1階に2室あります。2名以上8名までのグループで、討論したり、ビデオを見ながら学習するときに利用することができます。利用手続きは「グループ学習室利用申請書」に必要事項を記載し、カウンターへ提出します。事前の予約も可能です。

グループワークの時などに、よく利用されています。利用したいときはカウンターにいつでもお声をかけてください。

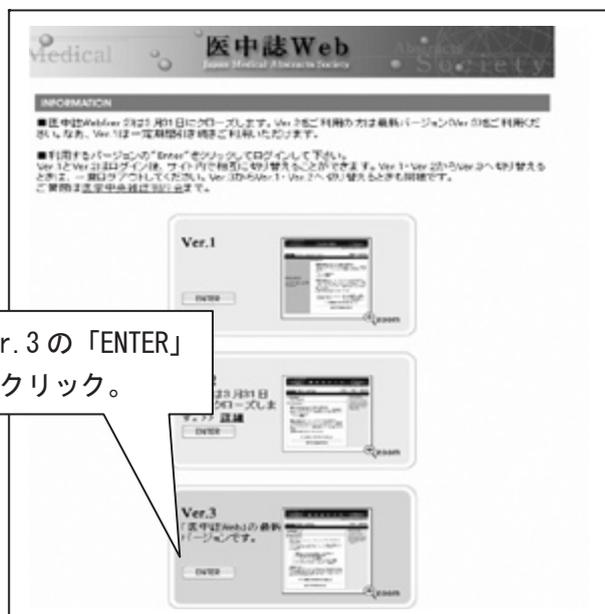
## 医中誌 Web 版の検索方法

### ◆「医中誌 Web 版」とは

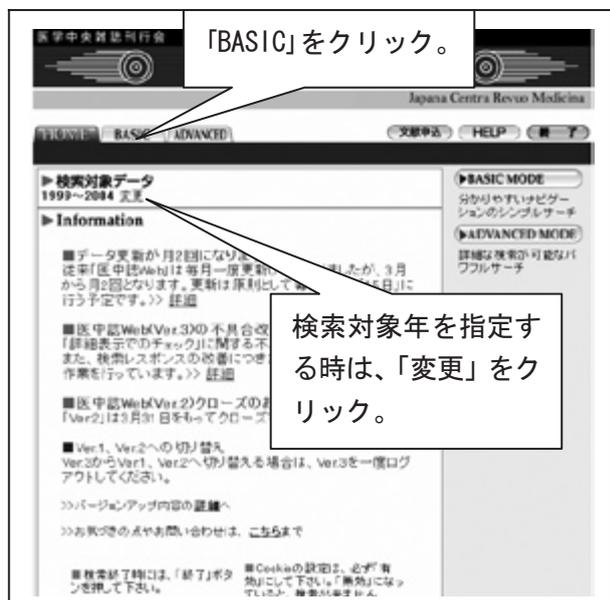
日本の医学、歯学、薬学、そして看護を含めた関連領域の文献を網羅した総合抄録誌「医学中央雑誌」の Web 版。1983 年から最新の文献まで約 500 万件を収録しています(2004 年 3 月現在)。2004 年 3 月からは、月に 2 度データが更新されるようになりました。

### ◆医中誌 Web 版 (Ver. 3) で検索してみましょう！

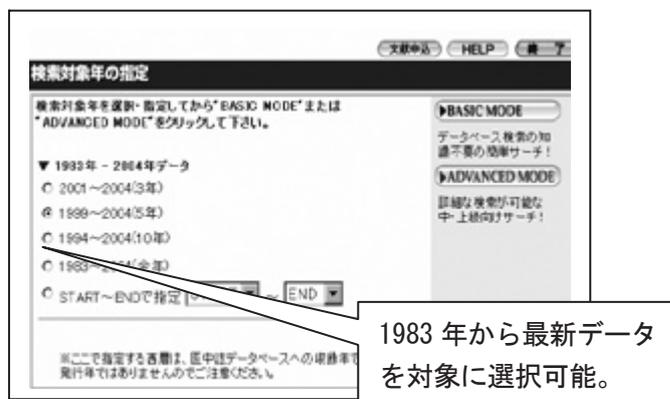
- ①図書館のホームページ画面から「データベース検索」の「医中誌 Web 版」を選択します。



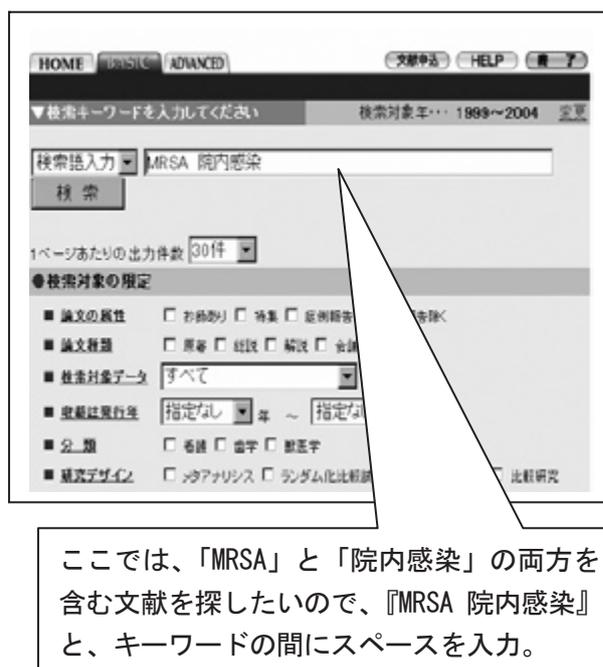
- ②次の画面で検索モードを選択します。



- ③検索対象年は、初期設定では最新 5 年分が選択されています。検索対象年を選択・指定してから、検索モードを選択します。



- ④「検索語入力▼」の横に検索したいキーワードを入力し、「検索」ボタンをクリックします。著者名、雑誌名、所属機関で検索するときは、検索語入力で指定します。



◆検索結果◆

文献申込 HELP 終了

▶ 新たな検索

(((メチシリン耐性/TH and @"Staphylococcus aureus"/TH) or MRSA/AL) and (院内感染/TH or 院内感染/AL) and (DATA=excepre) の検索結果... 716件

式の編集

▼上記の検索結果に、他の検索語を掛け合わせる(AND)、または足す(OR)、引く(NOT)

AND 検索語入力

検索

▼上記の検索結果を、絞り込み項目で絞り込む

絞り込み検索画面へ

▼新たな検索をする

新規検索

タイトル表示 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >

30件 変更した件数でタイトルを再表示

もっと詳しい情報を表示 ダウンロード メール送信

⑤検索結果を表示すると、検索された文献の件数と検索式が表示され、そのうち最新の文献から 30 件が自動的に表示されます。

さらに検索結果をキーワードで絞り込むときは、ここにキーワードを追加して「検索」ボタンを押す。

・表示項目は、論題名、著者名、掲載誌名です。

8 2004071960

論題名  
感染リスク状態にある高齢者への援助 感染リスクのアセスメントと対処行動への援助を行っての考察(原著論文)

著者名  
Author:長峰一志(東京都多摩老人医療センター 看護科)

Source: 東京都老年学会誌(1344-1175)9巻 Page227-230(2002.03)

掲載誌名

抄録やシソーラス用語などの文献の詳細を見る時は、「もっと詳しい情報を表示」ボタンをクリック。抄録はすべての文献についているわけではない。

◆詳細表示◆

8 2004071960

感染リスク状態にある高齢者への援助 感染リスクのアセスメントと対処行動への援助を行っての考察

Author:長峰一志(東京都多摩老人医療センター 看護科)

Source: 東京都老年学会誌(1344-1175)9巻 Page227-230(2002.03)

論文種類: 原著論文

シソーラス用語: 院内感染(予防,看護); 抗腫瘍剤(毒性,副作用); リスクマネジメント; 感染予防管理, 老人看護, 看護アセスメント; 白血病(薬物療法); メチシリン耐性, ドウ球菌感染症(看護,予防); Staphylococcus aureus

医中誌フリーキーワード: 骨髄抑制(看護,化学的誘発)

チェックタグ: ヒト; 高齢者(65~79); 男; 看護

抄録  
Abstract: 65歳男 全身のかゆみが出現し,白血球疑いで緊急入院となった。BHAC-IDR療法を2回施行したが効果なく骨髄抑制期に肺炎の合併もみられた。発熱のため,食事は低下,ADLは著明に低下した。更にCAG療法を施行し,白血球の増加と共に解熱し,退院した。感染リスクに対して,看護者は口頭による指導を行い,対処行動を促したが患者自身が行うことは少なく,肺炎以外にも口腔内,皮膚に感染徴候が見られた。再入院時の情報を各項目でアセスメントし,問題と考えられる現象を抽出し,個々の問題に対しての小目標をたて,ケアを行った。患者は治療について,前向きな意識を持つことができた。患者が自らの持つ問題を認識し,対処方法を見いだす援助の効果と考えた。

シソーラス用語

⑥検索を終了するときには、必ず「終了」ボタンを押してください。医中誌 Web 版は同時アクセス数が限られていますので、注意してください。

医学中央雑誌刊行会

医中誌 WEB

Japania Centra Revuo Medicina

文献申込 HELP 終了

詳細表示 ▶ 前面面に戻る ▶ 新たな検索

# 新入生対象図書館ガイダンスのご案内

図書館では、4月に新入生対象の図書館ガイダンスを実施致します。内容は図書館の利用方法と蔵書検索方法の説明、そして、図書館ツアーです。これを覚えておけば、あなたも図書館のエキスパートになれます。

## ①図書館利用方法と資料

基本的な図書館の利用方法と利用できる資料・データベースの概略についての説明。

## ②蔵書検索方法

図書館蔵書検索システム (OPAC) を使って、図書・雑誌・視聴覚資料を検索。

## ③NDC (日本十進分類法) と配架場所

NDC と請求記号、資料の配架場所との関係について解説。

## ④図書館ツアー

各階に配架されている資料やグループ学習室・書庫などの利用方法について説明。

☆ このほか、各データベースのガイダンスについても、随時受付しております。医中誌 Web 版や PubMed などの雑誌論文の探し方を習得した方は、カウンターへお申し込みください。

## 《開館時間のお知らせ》

無印 9:00~21:00

■ 9:00~16:45

■ 休館

2004年4月							2004年5月							2004年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
4	5	6	7	8	9	10	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
11	12	13	14	15	16	17	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
18	19	20	21	22	23	24	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
25	26	27	28	29	30		30	31												

2004年7月							2004年8月							2004年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第2号 平成16年3月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/libr/index.html>